

農業保存食料品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	17～ 18	工場内を他の従業員と話しながら歩いていたところ、足元にあったパレットに気付かず、足を引っ掛け転倒してしまった。	52	30 ～ 49
1	9～ 10	計量作業を終え、コンピュータースケール（計量機）から階段で下において歩き始めた時、床に落ちていた廃棄原料（スライスされた赤かぶ漬）を踏んでしまい、滑って転倒し、左足首を強打した。	57	30 ～ 49
1	15～ 16	工場内原料加工室でカボチャの裏ごし作業中に、器具の洗浄のため洗い場に移動しようとした際に、濡れていたエプロンの裾が長靴に張り付いていたため、踏み出しでつまずき転倒した。	60	10 ～ 29
1	10～ 11	トイレ休憩から自分の持ち場へ戻るため、工場内の高菜ラインに歩いて移動中、床が濡れていて滑りやすくなっていたのに気付かず、右足を滑らせてしまい、尻を打撲した。	46	50 ～ 99
2	8～9	出勤後、当社工場駐車場に車を停めて、事務所向かって歩いていたところ、躓いて転倒し手をついた際に右環指を負傷した。	38	—
2	7～8	歩行中に、床についている高さ7、8cm位のパイプに躓いて前に倒れた時に、左膝を床にぶつけ負傷したものである。	59	30 ～ 49
2	11～12	会社敷地内にて、芋の搬入作業中、パレットを取りに行ったところ、コンクリート地面に2～3cm程の隆起があり足が躓いた。そのまま前方向に倒れ、両手を地面につき左掌を負傷した。	53	10 ～ 29

4	10～11	漬物の製造および漬け込み作業をしていた際に、大ザルを洗浄しに行こうと体の向きを変えた所後ろに置いてあった水の入ったポリダル（高さ7cm程度）に体がぶつかり、バランスを崩し、足を滑らせて転倒した。その後、右腕に激痛が走り、起き上がることが出来なかった。	61	50～99
5	16～17	漬物製造室で漬物の袋詰作業中、選別されラインからはじかれた袋詰を回収するため、左手側検査場所方向に歩を進めたところ、右足が足マット（ウレタン製畳1/6サイズ、厚さ3cm防寒疲労軽減用）に躓き引っ掛かり、バランスを崩し両ひざをつき転倒した。その際に左足を不規則について捻じったため、その衝撃で左足足首（くるぶしの上）を骨折した。	63	10～29
6	3～4	冷凍工場内において、清掃及び翌日準備のため、3名にて作業していたが、終了したので工場内の電灯を他2名に消灯する旨を確認後、消灯したところ、被災者が暗い場所におり、その中で移動したために床に置いてあった鉄製リング（高さ10cm程度）に躓き、膝をついた際に鉄製リングに強打し負傷してしまった。	49	300～499
6	15～16	当社工場内3号包装機（ペースト製造）において、作業終了後、商品を持って金属探知機の確認を行い、その商品のセイロの所に移動中、ラック取手を跨ぎ（約30cmの高さ）、その際につま先が引っ掛かり転倒した。手に商品を持っていた為そちらをかばい、手の平を床に打った。商品（縦25.7cm、横18.2cm、1個1kg）	59	100～299
6	16～17	見学者用通路内倉庫の整理整頓中に物を運んでいた際、足元の水に気付かずに踏んでしまい滑った。	59	100～299
6	16～17	乾燥工場の乾燥室乾燥台E台、F台の間で、振りかえった際に床で足を滑らせ転倒した。転倒の際、左手を床についたため左手を怪我した。転倒時、床は水で濡れていて、水分を含んだケールカスが散らばっており、靴裏にもカスがついていたことから滑りやすい状態になっていた。	65	100～299
6	12～13	たくあんの原料である干し大根を、FRP容器に漬替える作業をしている時、その容器に横付けしてある落下防止用の作業台（同じFRP容器に板で上蓋したもの）より飛び降りた際、左足踵を地面に強打し、骨折してしまった。作業台から降りる際は2段階を使用するべきであったが、徹底されていなかった。	67	100～299

7	11~12	消毒用の塩素を補充するため空のバケツを持って加工場内を歩行している時、床に出ているアンカーにつまずいて転倒し、左ひざを負傷した。	58	30 ～ 49
9	8~9	工場の中から外に出る時、中から50cmの高さから外にジャンプしたさい、下の鉄板の端に足をついた所、足半分が鉄板の端にのってしまいそのままひねって転んだ。	42	50 ～ 99
10	17~18	被災者は退社時間になったので、帰宅準備のため、工場建物内の作業場所から手洗い場を通り、ロッカールームに向かって歩いていた。手洗い場とロッカールームの間には、エントランス空間があり、引き戸で仕切られている。手洗い場を通り、引き戸を左手で開け、エントランス空間に出ようとしたところ、引き戸の下、5ミリ程の高さのレールに、右足のつま先を引っ掛け、前のめりに転倒。顔面と左手首をコンクリートの床にぶつけて負傷した。負傷直後は痛みをさほど意識していなく、大丈夫だと思ったが、帰宅後、しばらくして腫れと痛みが出た。	72	50 ～ 99
10	20~21	工場内包装ラインエリアにて、歩行中に足が滑り、転倒した際に左腕を床につき、左橈骨を骨折してしまった。包装作業が終わり水かき清掃をする前の出来事で床が濡れていて滑りやすかった。	66	100 ～ 299
10	9~10	高菜の手洗い洗浄作業中に気分が悪くなり持ち場を離れようとしたが、意識を失い転倒。顔面を床に強打し、右頬を骨折した。	22	100 ～ 299
12	9~10	包装室内にて、添加液を入れたビーカーを持って移動中、取り除き漏れた野菜片が床にあったが、気付かずに踏んでしまい、滑って転倒し負傷した。	41	100 ～ 299
12	8~9	朝、自転車で工場に到着後、敷地内にある駐輪スペースで、自転車から降りて玄関に向かう途中、同じ駐車場スペースで躓いて転び、膝をコンクリートで強打して膝蓋骨を骨折した。	52	30 ～ 49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html